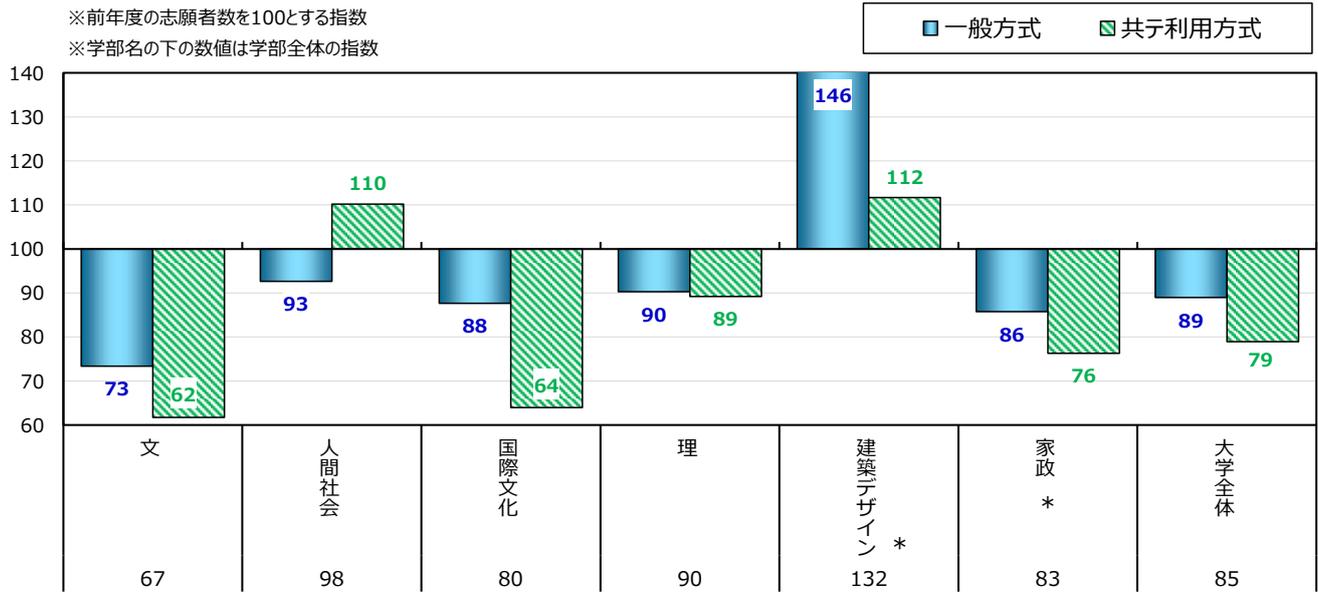


日本女子大：大学全体では前年度やや減少に引き続き大幅減少

一般：-638人 共テ：-825人



*家政は2023年度の(住居/居住環境デザイン、建築デザイン)を除いた志願者数との比較。建築デザインは2023年度の家政(住居/居住環境デザイン、建築デザイン)との比較。

主な入試変更点

学部改組：家政(住居/居住環境デザイン、建築デザイン)→建築デザイン(建築デザイン)
 募集人員：文(日本文)<一般・個別>…60人→50人
 入試科目：文(史)<一般・個別>…歴の配点変更 国<100>+外<100>+歴<100>=総点<300>
 →国<100>+外<100>+歴<150>=総点<350>
 <一般・英語外部試験利用型>…国<100>+歴<100>=総点<200>→国<100>+歴<150>=総点<250>
 <共テ・前期>…歴が選択から必須へ、歴の選択科目と配点変更、選択から公、数①、数②、理・理基2 除外
 国<200>+外<200>+(歴公 or 数① or 数② or 理・理基2)<200>=総点<600>
 ※歴：世A or 世B or 日A or 日B or 地理A or 地理B
 →国<200>+歴<300>+外<200>=総点<700> ※歴：世B or 日B or 地理B

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前年度やや減少に引き続き、1,463人(85)の大幅減少。学部別では、学部改組を行った建築デザイン(132)は前年度の家政(住居/居住環境デザイン)、(住居/建築デザイン)の合計との比較では大幅増加だったが、他の学部はいずれも減少。方式別では、一般方式は638人(89)の減少。共通テスト利用方式は825人(79)の大幅減少。

<一般方式>

- 文(73)は、大幅減少。学科別では、2年連続で3学科とも減少。(史)(63)、(英文)(65)は大幅減少。(日本文)(91)は減少だが、募集人員も減少で志願倍率は8.6倍→9.3倍にアップ。
- 人間社会(93)は、5年連続減少。学科別では、4学科中3学科で減少。(社会福祉)(69)、(心理)(75)は大幅減少、(教育)(95)はやや減少。一方で、(現代社会)(121)は前年度ほぼ半減の反動で大幅増加。
- 開設2年目の国際文化(88)は、減少。方式別では、<個別>(75)は大幅減少。
- 理(90)は、減少。学科別では、(数物情報科学)(90)、(化学生命科学)(90)と2学科とも減少。
- 建築デザイン(146)は、前年度の家政(住居/居住環境デザイン)、(住居/建築デザイン)の合計との比較で大幅増加。志願倍率も6.9倍→9.4倍にアップ。
- 家政(86)は、前年度の家政(住居/居住環境デザイン)、(住居/建築デザイン)を除いた比較で減少。学科・専攻別では、(家政経済)(78)、(食物/管理栄養士)(82)は大幅減少、(児童)(86)は8年連続減少、(被服)(90)は2年連続減少。(食物/食物学)(101)は前年度並。

<共通テスト利用方式>

- 文(62)は、2年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、3学科とも減少。(史)(32)は前年度倍以上の反動で大幅減少、(英文)(87)、(日本文)(88)はいずれも2年連続大幅増加の反動で減少。
- 人間社会(110)は、増加。学科別では、増減それぞれ2学科ずつ。(社会福祉)(184)、(教育)(134)は大幅増加。一方で、(現代社会)(81)は4年連続大幅減少、(心理)(95)は2年連続やや減少。
- 開設2年目の国際文化(64)は、大幅減少。方式別では、<前期>(60)は大幅減少。
- 理(89)は、2年連続減少。学科別では、(化学生命科学)(86)は2年連続減少、(数物情報科学)(92)は前年度大幅増加の反動で減少。
- 建築デザイン(112)は、前年度の家政(住居/居住環境デザイン)、(住居/建築デザイン)の合計との比較で増加。
- 家政(76)は、前年度の家政(住居/居住環境デザイン)、(建築デザイン)を除いた比較で大幅減少。学科・専攻別では、5学科・専攻全て減少。(食物/管理栄養士)(57)、(被服)(73)、(児童)(75)は大幅減少、(家政経済)(92)は2年連続減少、(食物/食物学)(98)は微減。